

# マンガで伝える地域包括ケア

## 第4話 もうちょっと何か出来るかな 「認知症サポーター養成講座」



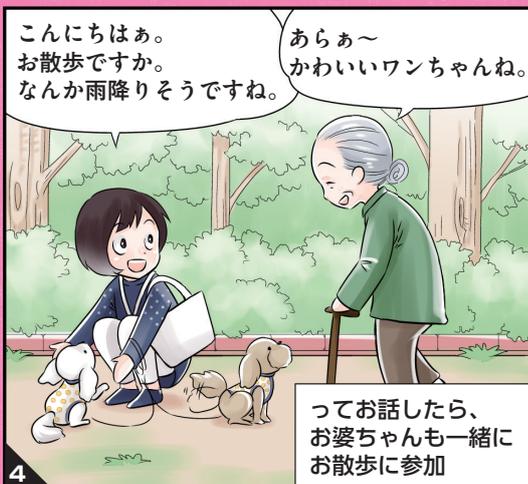
1 地ケアのイベントに色々参加していると、「地ケアの活動をちょっとしてみたいな」と思ってくるんですよ。でも、すごい活動をしたって訳じゃなくて。「もうちょっと何か出来るかな」って感じで。



「認知症サポーター養成講座」が、私にとっての「もうちょっと何か出来るかな」だったんですけど…

この講座に参加しようと思ったのは、ポポ、ピノとのお散歩中に会ったお婆ちゃんがきっかけです。

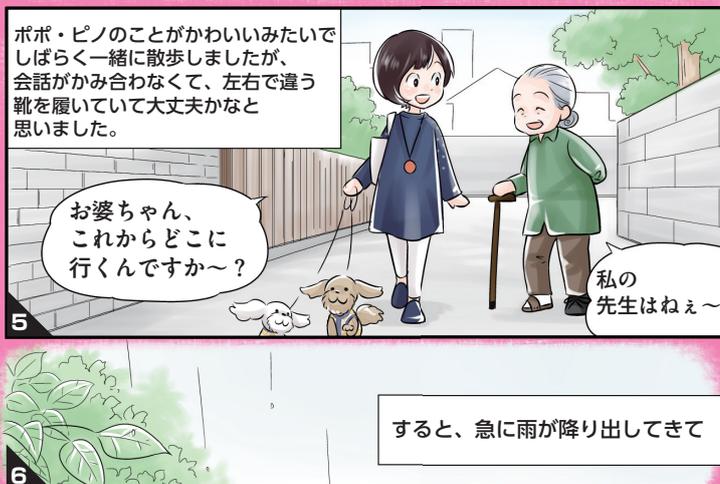
2 ある日のポポ、ピノ散歩中



3 こんにちはあ。お散歩ですか。なんか雨降りそうですね。

あらあ〜かわいいワンちゃんね。

4 っってお話したら、お婆ちゃんも一緒にお散歩に参加

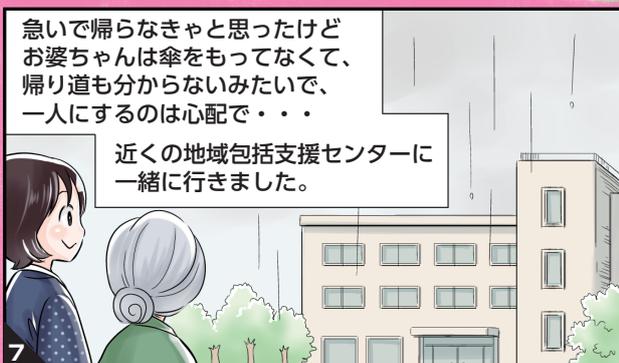


5 ポポ・ピノのことがかわいみみたいでしばらく一緒に散歩しましたが、会話が合わなくて、左右で違う靴を履いていて大丈夫かなと思いました。

お婆ちゃん、これからどこに行くんですか〜？

私の先生はねえ〜

すると、急に雨が降り出してきて



6 急いで帰らなきゃと思ったけどお婆ちゃんは傘をもってなくて、帰り道も分からないみたいで、一人にするのは心配で…

近くの地域包括支援センターと一緒に行きました。

7



8 地域包括支援センターで事情を説明すると、「ありがとうございます、あとは大丈夫ですよ。」って快く引き受けてくれて、とても心強かったんですよ。

9 私も、次にこういう出会いがあったら、もっと力になりたいなって思って「認知症サポーター養成講座」を受けてみようって思ったのです。

認知症を正しく理解し、気持ちを出るだけ汲み取ろうって内容なので、家族に認知症の方がいる方も多く参加してるんですよ。

10 「もうちょっと何か出来るかな」って考えるだけでも、色々世界が変わるんです。

もし自分の身近な人が認知症になったらって思うと不安になるけど、正しく理解すれば不安も軽減。周りに認知症サポーターがたくさん居たら、もっと不安が減るし、家族も安心ですよ。